

日本プライマリ・ケア連合学会 生涯教育セミナー

「セルフメディケーションに必要な OTC・健康食品・漢方薬などの知識・活用と

地域活動(薬物乱用防止, 健康教育などを含む)」(東京)のご案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の研修制度としての認証(P-02)を取得いたしております。】

今回はプライマリ・ケア薬剤師に必須な領域である●セルフメディケーションに必要な OTC・健康食品・漢方薬などの知識と活用と、●地域活動(薬物乱用防止, 学校薬剤師, 健康教育などを含む)の研修会を開催致します。研修形式は、これまでの研修会と同様にスモールグループの参加型研修形式を中心に行います。

尚、今回は医師・看護師など多職種が生涯教育セミナーとして参加できる企画といたしました。多職種の連携(IPW)・相互理解のためにも、この研修チャンスをお見逃しなく受講をお勧めいたします。奮ってご参加ください。

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
2	開催日	平成 24 年 5 月 20 日(日曜日)
3	研修会場	(株)白寿生科学研究所本社ビル 2F会議室 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 案内図 http://www.hakujuhall.jp/access/traffic.html
4	認定単位	日本プライマリ・ケア連合学会 生涯教育単位5単位 (医師のみに付与されます) ※日本プライマリ・ケア連合学会の専門医あるいは認定医の更新用の生涯教育単位です。
5	受講資格	医師、医療職、医療関係者 本案内は医師向けの専用版です。薬剤師他は薬剤師版をご利用ください。
6	定員	60 名
7	受講申込	締切り:平成 24 年 5 月 11 日(金)午後 5 時 別紙の専用 FAX 申込書による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	8000 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 6500 円 ※ 受講票送付後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
10	受講票送付	受講料の振込が確認された受講者には順次、受講票(ハガキ)を送付いたします。 ※ 受講票(ハガキ)を必ず当日ご持参ください。

※受講までの流れ

FAX 送信申込 → 受講案内送付(振込) → 入金確認済み → 受講票送付 → 受講票を当日お持ち下さい

* 申 込 先 *

プライマリ・ケア認定薬剤師短期集中研修会事務局
〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5-904 株式会社ヘルストラスト内
TEL (03) 3409-4037 FAX (03) 3409-4075

プログラム(東京)

プライマリ・ケアにとって、セルフメディケーションへの支援及び地域での健康支援活動は大変重要な役割です。今回は、セルフメディケーションに必要な OTC 医薬品の使い方、地域で取り組むアンチドーピング活動、漢方薬の知識と活用、選ばれる医療職になるためのテーマで研修会を開催します。本研修会に参加し、地域で選ばれるプライマリ・ケアを目指しましょう！

2012 年 5 月 20 日(日曜日)

9:00～	受 付
9:20～10:50	① OTC医薬品の選択と情報提供 講師:坂口眞弓 セルフメディケーションに関わる一般用医薬品の配合成分から来局者の症状・健康状態に適した一般用医薬品の選択、情報提供を学習します。これであなたも OTC の達人！
11:00～12:30	② 薬剤師のアンチドーピング活動 講師:原 博 2003年の静岡国体からドーピング検査が始まり、薬剤師会が積極的にドーピング防止活動を実施するようになった。薬剤師のドーピング防止活動への貢献、ドーピングについての歴史、スポーツファーマシスト認定制度の誕生と社会からの要望、活動領域、現在の問題点および今後の展望について概説します。
12:30～13:20	昼 食 (各自でご持参ください)
13:20～14:50	③ 生薬と漢方 講師:三巻祥浩 配合生薬やその成分から、漢方薬の薬効や副作用について解説します。また、6年制薬剤師国試では、薬局実務の分野で漢方薬が出題されています。6年制薬学生に対する漢方薬学教育についても紹介したいと思います。
15:00～16:30	④ 「そうだ、〇〇さんに相談してみよう！」という薬剤師さんになっ ていますか？ 講師:久田邦博 がんサバイバーとして薬剤師を見つめ、研修ファシリテーターとして改善方法について考えてきました。患者から選ばれる薬剤師について一緒に考えていきましょう。90 分間で大きな変化がきっと得られます。

20 分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

講 師

坂口眞弓(薬剤師) みどり薬局、東京薬科大学客員教授

原 博(薬剤師) 東京都薬剤師会副会長

三巻祥浩(薬剤師) 東京薬科大学教授

久田邦博(薬剤師) 名城大学非常勤講師

以上敬称略